

ダイワ・ライジング・インドネシア株式ファンド 最近の基準価額の動きと投資環境について

2015年2月18日

平素は、「ダイワ・ライジング・インドネシア株式ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの運用状況について、お知らせいたします。

なお、当ファンドは、2月16日に第8期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして、1万口当たり1,400円(税引前)と致しましたことをご報告申し上げます。

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

＜基準価額・純資産の推移＞

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2015年2月16日現在

基準価額	10,101 円
純資産総額	60億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+3.2 %
3カ月間	+3.9 %
6カ月間	+10.8 %
1年間	+31.5 %
3年間	+48.1 %
5年間	-----
年初来	-1.4 %
設定来	+57.6 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜分配の推移＞

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (11/08)	1,200円
第2期 (12/02)	0円
第3期 (12/08)	60円
第4期 (13/02)	2,000円
第5期 (13/08)	60円
第6期 (14/02)	0円
第7期 (14/08)	140円
第8期 (15/02)	1,400円
分配金合計額	設定来: 4,860円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212 (営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【インドネシア市場について】

インドネシア株式市場は、ジョコ・ウィドド大統領による経済・財政の構造改革推進、インフラ（社会基盤）投資の拡大期待に加え、外部環境の改善などから、上昇基調を維持しています。

○ジョコ・ウィドド大統領の政策

2014年7月、改革派といわれるジョコ・ウィドド氏が大統領選挙で勝利したことで、インドネシア大統領として初めてエリート層や軍幹部ではない庶民出身のジョコ大統領が誕生しました（大統領就任は10月）。ジャカルタ特別州知事時代の行政手腕を国政においても発揮し、大胆な経済改革を推進すると期待されています。同氏は7%の経済成長目標を掲げ、①燃料補助金削減による財政改革、②積極的なインフラ開発、③手続簡素化などによる海外からの投資促進、④汚職の撲滅、などの政策に取り組んでいく方針を示しています。

－財政健全化－

財政赤字の主な要因となってきたガソリンへの燃料補助金の撤廃をジョコ・ウィドド政権が決定したことで、財政の健全化が期待されます。

－インフラ投資－

燃料補助金の削減分をインフラ、社会保障にまわすという2015年度修正予算案を提出したことに加え、セメント小売価格の上限引き下げ決定などは、政府のインフラ整備促進に向けた強い意欲を示していると考えます。

○外部環境の改善

中国の金融緩和やECB（欧州中央銀行）が量的緩和の実施を決定したことで、インドネシアを含む新興国市場への緩和マネーの供給が継続するとの見方が強まっています。また、原油価格の下落、米国株式市場の堅調な動きなど、外部環境が改善しています。

○為替相場

インドネシア・ルピアは2014年の夏場以降、米国市場における利上げ観測の高まりや原油価格の下落に伴い世界的にリスク回避姿勢が強まったことなどを受けて、対米ドルでは軟調に推移しています。一方、対円では、10月末に日銀が追加金融緩和を実施したことなどから円安米ドル高が進行したことで、一時大幅にルピア高円安が進行しました。2015年に入ってから、円安の流れが一服していることもあり、対円では横ばいでの推移が続いています。

【今後の見通し】

ジョコ・ウィドド大統領による経済・財政の構造改革推進期待や外部環境の改善などから、インドネシア経済は今後も緩やかな回復が見込まれ、インドネシア株式市場の魅力は高いと考えます。

インドネシア中央銀行は、2月17日（現地）に定例の金融政策決定会合で政策金利を0.25%ポイント引き下げ、7.50%としました。原油価格の下落から、期待インフレ率は低下しやすい状況にあり、また昨日の利下げから追加利下げ観測が生まれやすく、このことは今後の株価への支援材料と考えます。

以上

ダイワ・ライジング・インドネシア株式ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- インドネシアの株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- インドネシアの株式^(注)に投資します。
(注)「株式」…DR(預託証券)を含みます。
- 個別企業の分析によるボトムアップ・アプローチによって運用を行ないます。
- インドネシアの株式の運用の一部は、ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッドが行ないます。
※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク、税制に伴うリスク等)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	販売会社が別に定めるものとします。 購入時の申込手数料の料率の上限は、 3.24% (税抜 3.0%) です。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に対して 年率 1.782% (税抜 1.65%) ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、 資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※インドネシア市場では、ファンドが株式への投資によって得た配当金に対して課税される場合があります。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、 上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会